職業実践専門課程等の基本情報について

数型表の記し上の作の作列数 下のから月19日 数目 校園 次数	設置者名	専門学校			校長名		010 0010	所在地			
### 2015			平成9年2月	13日	瀧口 博俊			2-12-29			
### 2000年 2012年日 世年4 年 1 日本 2012年日			設立認可年	月日	代表者名	(電話)	092-415-2294	所在地			
安全		中力									
### 14 日本				1120	理事技 麻生 19						
# 2	分野				認定学科名	専	門士認定年度	高度専門士認定年	丰度	職業実践専	<u> </u>
学科の特徴 生 大砂 () 1	教育·社会福祉	介記	檴福祉専門課程		介護福祉科	平成	(10年(1998)年度	_		平成2	5(2013)年度
	学科の目的					有した福祉専門	引職の養成を行なう。また、?	独自の人間力向上のため	のGCB教育を	を柱に、向上心	と協調の精神をもっ
2	育内容、取得可能な	取得可能な 学習意欲の	検定・資格: 介護福祉 低下等:疾病が原因で	:士国家試験受關	験資格				中退率は昨年	Eから	
② (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	修業年限	昼夜	全課程の修了に必要		又は総単位	講義	演習	実習	実験	È	実技
全美学の大学 全美学高(A) 留学生製の主要用の内閣(B) 留学生制合(B)(A) 中選車 49 A 9 A 24 A 49 A 0 A 1 A		昼間		1,874			t				0 単位時間 単位
		生徒男	€員(A) 留学	生数(生徒実員の	_{内数)} (B) 留学			. –			
	80 A	40	,	24	7	49%	0 %				
# 10年 (1975) - 20 人 10日	00 X			27			U 10				
## 2012年 (2012年 1200年 270 年 2012年		■就職希望	望者数(D) :		29	,	- -				
(4) 単位称では、20 元 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							-				
■ 製版等の休え				:			_				
■ 正子音数 2 人 人				割合 (F/E)	100		=				
20		■卒業者に	占める就職者の割合	(E/C)	100	%	-				
■その他 実計の形式間につながもケースが多いため、実習指導等でも原揮を選組した指導を行っている (今年 6年年代表が関係、業内等 (今和の年の東京主) 社会福祉法人多々良福社会、社会福祉法人自覧会、社会福祉法人用風会、株式会社書も書も、等 国民間の評価機関等から第三者評価: 無 所有の場合、教人は似すについて信息記録	=+ IIII					%	=				
実習から就職につながらケースが多いため、実習指導等でも診職を豊端した指導を行っている (今市 年安本書に関する今和7年5月1日均点の推動) 重となる財産、実際等 (全和6年度を乗送) 理長間の評価機関等から第三者評価: 無 選及の課金、教えば以下について任意記載 学校評価: 無 選及の場合、教えば以下について任意記載 デ経の場合、教えば以下について任意記載 デ経の場合、教えば以下について任意記載 デ経の場合、教えば以下について任意記載 デ経の場合、教えば以下について任意記載 デ経の場合、教えば以下について任意記載 デ経の場合、教えば以下について任意記載 デ経の場合、教えば以下について任意記載 デ経の場合、教えば以下について任意記載 「たきます・ また・	就職等の状況		X		2	人	-				
# 主意の関係と、業界等 (全和の単位を製造する。			: 職につかがるケース	が多いため ヨ	主羽指道等で4.就賠	を音識 たお途	草を行っている				
# 主な別担先、全界等 (今の6年変ま生) 社会福祉法人教養園、社会福祉法人多々良福社会、社会福祉法人日無会、社会福祉法人得風会、株式会社さらきら、等 # 三型による 学科的の ボームページ INCL (A:単位時による音楽色) 1.874 単位時間 3-6企業年と連携した実験・実面・実技の授業時数 1.874 単位時間 3-6企業年と連携した実験・実面・実技の授業時数 402 単位時間 3-5企業年と連携した必要の実施状況 (A: 影と対すれかに 3-5企業年と連携した必要の実施・実産・実技の授業時数 402 単位時間 3-5企業年と連携した必要の実施状況 (A: 別の事件と選集した必要の実施・実産・実技の授業時数 402 単位時間 3-5企業年と連携した必要の実施状況 (A: 別の事件と選集した必要の実施状況 (A: 別の事件と関係した必要の実施が表 1.874 単位時間 3-5企業年と連携した必要の実施・実産・実技の授業時数 402 単位時間 3-5企業年と連携した必要の実施状況 (A: 別の事件と関係した必要の実施状況 (A: 日本の時間 3-5企業年と連携した必要の実施・実産・実技の授業時数 402 単位時間 3-5企業年と連携した必要の実施が表 0 単位時間 3-5企業年と連携した必要の実施・実産・実技の経験時数 402 単位 3-5企業年と連携した必要の実施・実産・実技の経験時数 402 単位 40							#E(1) 2 CV "0				
(中の内に食の業金) 対会福祉法人教養副、社会福祉法人多々良福社会、社会福祉法人自指会、社会福祉法人自指会、社会福祉法人清晨会、棒式会社きらきら、等 瀬田田の「伊藤田原町から第三者辞価: 無 ※前の場合、例えば以下について住意記載 字松評報				者に関する分和'	7年5月1日時点の情	驳)					
# 社会福祉法人の教養の、社会福祉法人の教養の、社会福祉法人自腐会、社会福祉法人月周会、株式会社さらさら、等 # 第三書による 学校辞価											
東三者による 宇代辞価 第三者による 宇代辞価 京任間存:				├法人多々良福	富祉会, 社会福祉法	人白能会, 社会	会福祉法人清風会,株式	会社きらきら、等			
第三者による 字校評価 当該学科の ホームページ URL (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) (方も企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 (5・5企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 (5・5企業等と連携した要の対象的対象 (5・5企業等と連携した必等の実験・実置・実技の授業時数 (5・6企業等と連携したを等の実験・実置・実技の授業時数 (5・6企業等と連携したを等の実験・実置・実技の授業時数 (5・6企業等と連携したを等の実験・実置・実技の授業時数 (5・6企業等と連携したとの等の実験・実置・実技の授業時数 (5・6企業等と連携したとの等の実験・実置・実技の授業時数 (5・6企業等と連携したとの等の実験・実置・実技の授業時数 (5・6企業等と連携したとの等の実験・実置・実技の授業時数 (5・6企業等と連携したとの等の実験・実置・実技の理検表 (5・6企業等と連携した大クターンシップの授業時数) (8・単位 (5・6企業等と連携した実験・実置・実技の単位数 第位 (5・6企業等と連携した必等の実験・実置・実技の単位数 第位 (5・6企業等と連携した必等の実験・実置・実技の単位数 第位 (5・6企業等と連携した必等の実験・実置・実技の単位数 第位 (5・6企業等と連携した必等の実験・実置・実技の単位数 第位 (5・6企業等と連携した必等の実験・実置・実技の単位数 第位 (5・6企業等と連携した必等の実験・実置・実技の単位数 第位 (5・6企業等と連携した必ずの実践・実置・実技の単位数 第位 (5・6企業等と連携したがより、実践・実置・実技の単位数 第位 (5・6を書と連携したがより、実践・実置・実技の単位数 第位 (5・6を書と連携したがより、より、対験に対象を表験を表別を表別は実別は発別は実別・1) (5・6を学校設置基準第41条第1項第2号) (6・6を学校設置基準第41条第1項第2号) (7・6を学校設置基準第41条第1項第2号) (8・6を学校設置基準第41条第1項第2号) (9・6を学校設置基準第41条第1項第2号) (9・6を学校設置基準第41条第1項第3号)											
学校評価 学祖部体 : ・											
当該学科の 水ームページ https://asoluku.ac.in/amfc/care/		■民間の評	平価機関等から第三	皆評価 :			無				
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##							無				
https://asciuku.ac.io/amtc/care/ A : 単位時間による第定) (A : 単位時間による第定) (B : 単位時間 うち企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 1,874 単位時間 うち企業等と連携した影響の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 1,874 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 0 単位 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0 ● 0			例えば以下について任意		受審年	l: -	1		_		
URL (A:単位時間による享定) 総授業時数 (A:単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必要の実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必要の実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必要の実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必要の実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携したなりの実際は実験 の単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数 ラち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実験・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の単位数 ・単位 うち企業等と連携した必要の演習の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の単位数 ・単位 うち企業等と連携した必要の演習の単位数 単位 うち企業等と連携した必要の実際・実習・実技の単位数 ・単位 うち企業等と連携したが表別・実施・実習・実技の単位数 ・単位 ・ は は は は ま は ま は ま は ま は ま は ま は ま は ま	学校評価		例えば以下について任意		受審年	l: -	1		-		
総授集時数 1.874 単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 1.874 単位時間 うち必修授業時数 1.874 単位時間 うち必修授業時数 1.874 単位時間 うち必修授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 (うち企業等と連携したシをのス書の授業時数) の単位時間 (うち企業等と連携したシャンシップの授業時数) の単位時間 (うち企業等と連携したシャンシップの授業時数) の単位時間 (うち企業等と連携したシャンシップの授業時数) の単位 の単位 うち企業等と連携したがのス書の関連は数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 1.874 単位時間 の単位時間 の単位時間 うち企業等と連携したシャンシップの授業時数 単位 うち企業等と連携したシャンシップの理位数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 ません うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 1.874 単位 の単位 の単位数 単位 うち企業等と連携したシャンシップの理位数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 1.874 単位時間 の単位 の単位数 単位 うち企業等と連携したシャンシップの授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 1.874 単位	学校評価 当該学科の	※有の場合、	例えば以下について任新 評価団体: -	意記載	受審年	1: -	1		-		
総授集時数 1.874 単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 1.874 単位時間 うち必修授業時数 1.874 単位時間 うち必修授業時数 1.874 単位時間 うち必修授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 (うち企業等と連携したシをのス書の授業時数) の単位時間 (うち企業等と連携したシャンシップの授業時数) の単位時間 (うち企業等と連携したシャンシップの授業時数) の単位時間 (うち企業等と連携したシャンシップの授業時数) の単位 の単位 うち企業等と連携したがのス書の関連は数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 1.874 単位時間 の単位時間 の単位時間 うち企業等と連携したシャンシップの授業時数 単位 うち企業等と連携したシャンシップの理位数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 ません うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 1.874 単位 の単位 の単位数 単位 うち企業等と連携したシャンシップの理位数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 1.874 単位時間 の単位 の単位数 単位 うち企業等と連携したシャンシップの授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 1.874 単位	学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合、	例えば以下について任新 評価団体: -	意記載	受審年	1: -	1		-		
うち企業等と連携した実際・実習・実技の授業時数 452 単位時間 うち企業等と連携した演習の授業時数 0 単位時間 うち必修業等と連携した必修の演習の授業時数 1,874 単位時間 うち必修業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 うち必素等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 ○ 単位時間 ○ 5 企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 ○ 1 単位 ○ 1 単位数による算定) ○ 1 単位数 ○ 1 単位 ○ 1 日本の事態を実置・実践の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を実置・実践した演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を実置と連携した必修の演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を実置を連携した必修の演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を実置と連携した必修の演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を実置と連携した必修の演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を表示と連携した必修の演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を表示と連携した必修の演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を表示と連携した必修の演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を表示と連携した必修の演習の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を表示と連携した必修の演奏を実践の単位数 単位 ○ 1 日本の事態を表示と連携した必修の事態を表示と表示とよりまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任新 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/car	意記載	受審年	l: -	1		-		
3 ち企業等と連携した実置等の実施状況	学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任証 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/car 時間による算定)	意記載	受審年	1: -	1		- 1,874 崖	单位時間	
2 本等をと連携した実 3 方の体験で素等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任記 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/cal 時間による算定) 総授業時数	e /			1				
うち企業等と連携したを修の実験・実習・実技の授業時数	学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任記 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/cal 時間による算定) 総授業時数 うち企業	き記載e/等と連携した実	実験・実習・実技の担		1		452 単	単位時間	
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 単位 数員の属性 (専任教員について記入) 数員の属性 (事任教員について記入) 3 元余等と技術に使事した場合を含ますと連携したがあり、 3 元余等を決した。 3 元余等と連携したがあり、 4 元余の単位数 4 元の単位数 4 元の単位文は専門職学位 4 元の単位文は再に表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任証 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/cal 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	e/ 等と連携した実 等と連携したオ	実験・実習・実技の担		1		452 単	単位時間 単位時間	
②業等と連携した実 習等の実施状況 (A、B L 1 ずれかに記入) (B:単位数 (B:上(A:A) (B:上(A:A) (B:上(A:A) (B:上(A:A) (B:上(A:A) (B:L(A:A) (B:L(A:A	学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任証 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/cal 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	e/ 等と連携した3 等と連携した3 授業時数	実験・実習・実技の抗 黄習の授業時数	業時数			452 単 0 単 1,874 単	单位時間 単位時間 単位時間	
(A. Bいずれかに 記入) 日 : 単位数による算定	学校評価 当該学科のホームページ	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任証 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/cal 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	会記載 等と連携した3 等と連携した3 授業時数 うち企業等。	実験・実習・実技の抗 装置の授業時数 と連携した必修の実	業時数			452 単 0 単 1,874 単 452 単	单位時間 単位時間 単位時間	
(A. Bいずれかに記入) (B:単位数 総単位数	学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任記 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/cal 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	等と連携した事 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習・実技の担 義習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演	業時数 ・実習・実技 電の授業時数			452 単 0 単 1,874 単 452 単 0 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
記入) 数単位数 1 日本	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任記 評価団体: - pjuku.ac.jp/amfc/cal 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	等と連携した事 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習・実技の担 義習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演	業時数 ・実習・実技 電の授業時数			452 単 0 単 1,874 単 452 単 0 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、 https://asc	例えば以下について任道 評価団体: - siuku.ac.jp/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企	等と連携した事 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習・実技の担 義習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演	業時数 ・実習・実技 電の授業時数			452 単 0 単 1,874 単 452 単 0 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
対して記入 1 人	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任意 評価団体: - siuku.ac.jp/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定)	等と連携した事 等と連携した 授業時数 うち企業等 うち企業等	実験・実習・実技の担 義習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演	業時数 ・実習・実技 電の授業時数			452 単 0 単 1.874 単 452 単 0 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
うち必修単位数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の単位数 単位 うち企業等と連携したインターンシップの単位数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの単位数) 単位 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの単位数) 単位 (事修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 (事修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 (事修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (事修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人 (事修学校设置基準第41条第1項第5号) 0 人 (事修学校设置基本第41条第1项第5号) 0 人 (事修学校设置基本第61页第65号) 0 人 (事修学校设置基本第61页第65号) 0 人 (事修学校设置基本第65号) 0 人 (事修学校设置基本格65号) 0 人 (事修学校设置基本格65号)	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - siuku.ac.jp/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定)	e/ 等と連携したま 等と連携したが 授業時数 うち企業等 うち企業等 業等と連携した	実験・実習・実技の担 表習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 と本帯した必修の演 にインターンシップの	業時数 ・実習・実技 の授業時数 授業時数)			452 単 0 単 1,874 単 452 単 0 単 0 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の単位数 単位 「うち企業等と連携したインターンシップの単位数	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - siuku.ac.jp/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業	会記載 (e/ 等と連携した 等と連携した 浸業時数 うち企業等 えち企業等 素等と連携した 等と連携した	実験・実習・実技の担 責習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の基	業時数 ・実習・実技 の授業時数 授業時数)			452 単 0 単 1.874 単 452 単 0 単 0 単	单位時間 单位時間 单位時間 单位時間 单位時間	
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - siuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業	等と連携した演 等と連携した演 授業時数 うち企業等 うち企業等 業等と連携した 等と連携した 等と連携した 等	実験・実習・実技の担 責習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の基	業時数 ・実習・実技 の授業時数 授業時数)			452 単 0 単 1.874 単 452 単 0 単 0 単	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位	
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数) ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した相間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - siuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業	等と連携した須 等を連携したが 授業時数 うち企業等 うち企業等 ま等と連携した 等をと連携した 第	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数	業時数 ・実習・実技 の授業時数 授業時数) 位数	の授業時数		452 単 1,874 単 452 単 0 単 0 単 0 単 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した相間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - siuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業	等と連携した須 等を連携した須 資業等数 うち企業等 うち企業等 来等と連携した須 単位数 うち企業等	実験・実習・実技の担 表習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 表習の単位数 と連携した必修の実	業時数 (・実習・実技 (の授業時数) (位数 (位数 (・実習・実技(の授業時数		452 単 1,874 単 452 単 0 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
か担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の 修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 後業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 後の属性(専任教員について記入) (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - piuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 終授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業	等と連携した浮 等を連携したが 授業等数 うち企業等 うち企業等 きと連携した 等と連携した うち企業等 うち企業等 うち企業等	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の実 と連携した必修の実 と連携した必修の実 と連携した必修の演	業時数 策・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 位数 (位数 乗習・実技 (数 乗習・実技	の授業時数		452 単 1,874 単 452 単 0 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位単位 単位位 単位 単位位 単位位 単位位	
か担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の 修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 後業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 後の属性(専任教員について記入) (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - piuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 終授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業	等と連携した浮 等を連携したが 授業等数 うち企業等 うち企業等 きと連携した 等と連携した うち企業等 うち企業等 うち企業等	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の実 と連携した必修の実 と連携した必修の実 と連携した必修の演	業時数 策・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 位数 (位数 乗習・実技 (数 乗習・実技	の授業時数		452 単 1,874 単 452 単 0 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位単位 単位位 単位 単位位 単位位 単位位	
か担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の 修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第1号) 2 人 後業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 後の属性(専任教員について記入) (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - piuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 終授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業	等と連携した浮 等と連携したが できる	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の実 と連携した必修の実 と連携した必修の実 と連携した必修の演	業時数 策・実習・実技 の授業時数) 授業時数) 位数 (位数 乗習・実技 (数 乗習・実技	の授業時数		452 単 1,874 単 452 単 0 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位単位 単位位 単位 単位位 単位位 単位位	
を全ての者となる者として、	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記 評価団体: - piuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定)	等と連携した事等と連携したが 授業等をでは、 うち企業等。 うち企業等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等と連携した。 等等と連携した。 第等と連携した。 第等と連携した。	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の実 と連携した必修の実 と連携した必修の演 と連携した必修の演	業時数 後・実習・実技(習の授業時数) 授業時数) 位数 位数 単位数 単位数	の授業時数		452 単 1,874 単 452 単 0 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4 単 4	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位単位 単位位 単位 単位位 単位位 単位位	
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 数員の属性(専任教員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - juku.ac.jp/amfc/car 時間による算定) 終授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 終単位数 うち企業 うち必修 (うち企 変しよる第一 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	等と連携した須等をと連携したが 等等と連携したが ラち企業等 うち企業等 をと連携した うち企業等と連携した ま等と連携したが なった。 まである。 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 会・実習・実技 の授業時数) 位数 位数 (位数 単位数 単位数 その単位数	の授業時数	ホームページURL	452 単 1.874 単 452 単 0 単 4 452 単 0 単 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
教員の属性 (専任教員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記 評価団体: - pijuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企金 (うち企 の担当限 (うち企 のでは当成 (うち企	等と連携した須等をと連携したが 等等と連携したが ラち企業等 うち企業等 をと連携した うち企業等と連携した ま等と連携したが なった。 まである。 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 会・実習・実技 の授業時数) 位数 位数 (位数 単位数 単位数 その単位数	の授業時数	ホームページURL	452 単 1.874 単 452 単 0 単 4 452 単 0 単 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
教員の属は (等社 教 員について記入)	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記 評価団体: - pijuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企金 (うち企 の担当限 (うち企 のでは当成 (うち企	等と連携した須等をと連携したが 等等と連携したが ラち企業等 うち企業等 をと連携した うち企業等と連携した ま等と連携したが なった。 まである。 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、 までも、	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 会・実習・実技 の授業時数) 位数 位数 (位数 単位数 単位数 その単位数	の授業時数	ホームページURL	452 単 1.874 単 452 単 0 単 4 452 単 0 単 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位	
教員の属は (等社 教 員について記入)	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任前 評価団体: - siuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち企業 うち必修 (うち企	等と連携した浮奏をと連携した浮奏をと連携した浮奏をと連携した浮奏を企業等を企業等をと連携した。 「おきないない。」 「おきないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 (乗習・実習・実技・ (要素時数) (位数 (専修 (専修 (専修	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第	ポームページURL ************************************	452 単 0 単 1,874 単 452 単 0 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
(中 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記 評価団体: - pijuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企産業 (うち企 の担業年の の担業年の のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは	等とと連携したま 等とと連携したま 授業等と連携したを ううと連携したた 等とと連携したた 等を企業等した 等とと連携したた 等とと連携したた 等とと連携したたる 等とと連携したたる 等とと連携したたる できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 (金・実習・実技・ (金を受ける) (本を使ける) (本を使りる) (本を	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第	ポームページURL ************************************	452 単 1,874 単 452 単 0 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 1 人	坐位使時間 単位使時間 単位性的時間 単位性位 単位性位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単	
	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記評価団体: - piuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 なりません数 (うちを) (うち	等と連携したま 等等と連携したた 等等と要素等、 ・ できます。 ・ できまます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できまする。 ・ できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 業・実習・実技(の授業時数) 位数 位数 (専修 (専修 (専修	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	\$15) \$25) \$35)	452 単 1.874 単 452 単 0 0 単 4 4 5 2 単 4 5 2 単 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 5	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記評価団体: - piuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 なりません数 (うちを) (うち	等と連携したま 等等と連携したた 等等と要素等、 ・ できます。 ・ できまます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できまする。 ・ できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 業・実習・実技(の授業時数) 位数 位数 (専修 (専修 (専修	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	\$15) \$25) \$35)	452 単 1.874 単 452 単 0 0 単 4 4 5 2 単 4 5 2 単 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 5	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
計 3人	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記評価団体: - piuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 診授業時数	等と連携したま 等等と連携したた 等等と要素等、 ・ できます。 ・ できまます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できまする。 ・ できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 余・実習・実技 ぽの授業時数) 位数 役業時数) 位数 ・実習・実技(の数 単位数 単位数 (専修 (専修 (専修	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	ポームページURL (1号) (32号) (33号) (34号)	452 単 1.874 単 452 単 0 0 単 0 0 単 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	单位 中間 日本 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中	
	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記評価団体: - jiuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定)	等と連携したま 等等と連携したた 等等と要素等、 ・ できます。 ・ できまます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できまする。 ・ できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 余・実習・実技 ぽの授業時数) 位数 役業時数) 位数 ・実習・実技(の数 単位数 単位数 (専修 (専修 (専修	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	ポームページURL (1号) (32号) (33号) (34号)	452 単 1.874 単 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 4 5	单位 中間 电单位 中間 电单位 中間 电单位 电位	
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記評価団体: - jiuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定)	等と連携したま 等等と連携したた 等等と要素等、 ・ できます。 ・ できまます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できます。 ・ できますす。 ・ できます。 ・ できまする。 ・ できまする。 ・ できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	実験・実習・実技の担 質習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの 実験・実習・実技の単 質習の単位数 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等におい程 で、、当該専門課程	業時数 余・実習・実技 ぽの授業時数) 位数 役業時数) 位数 ・実習・実技(の数 単位数 単位数 (専修 (専修 (専修	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	ポームページURL (1号) (32号) (33号) (34号)	452 単 1.874 単 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 4 5	单位 中間 电单位 中間 电单位 中間 电单位 电位	
能力を有する者を想定)の数	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記評価団体: - juku.ac.jp/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 3 高等学校教育該 金銭 (うち企 3 高等学校教育等 係となる 3 高等学校教育等 (多なの他 計	第一年 を は は は は は は は は は は は は は は は は は は	実験・実習・実技の担 演習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの を験・実習・実技の単位数 と連携した必修の演 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等は専門に課程以 後、学、当算して、年以	業時数 余・実習・実技・ (書の授業時数) (位数 (中数) (本の単位数) (本の単位数) (本の単位数) (本の単位数) (本の単位数) (本の単位数)	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項9 学校設置基準第41条第1項9 学校設置基準第41条第1項9 学校設置基準第41条第1項9	\$1-40 (19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1	452 単 1 1 874 単 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 5 4 5	単位处的時間 単位性的時間 単位性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性	
	学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	※有の場合、https://asc(A:単位)(B:単位)	例えば以下について任記評価団体: - piuku.ac.ip/amfc/car 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総単位数 うち企業 うち必修 (うち企 なります。) (うち企 なります。) (うち企 なります。) (うち企 ないます。) (うちんます。) (うちんまする。) (うちんまするる。) (うちんまするるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる	意記載 (e/ 等等と連携したたう (字等と要素等した (字等とを変素等) (字等とを変素等) (字を変素等) (字を変素等) (字を変素等) (字を変素等) (字を変素等) (字を変素等) (字を変素等) (子を変素等) (子を変素等) (子を変素等) (子を変素を変素) (子を変素) (子を変素)	実験・実習・実技の担 演習の授業時数 と連携した必修の実 と連携した必修の演 にインターンシップの を験・実習・実技の単位数 と連携した必修の演 と連携した必修の演 にインターンシップの 後、学校等は専門に課程以 後、学、当算して、年以	業時数 余・実習・実技・ (書の授業時数) (位数 (中数) (本の単位数) (本の単位数) (本の単位数) (本の単位数) (本の単位数) (本の単位数)	の授業時数 の単位数 学校設置基準第41条第1項9 学校設置基準第41条第1項9 学校設置基準第41条第1項9 学校設置基準第41条第1項9	\$1-40 (19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 1	452 単 1 1 874 単 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 4 5 2 4 5 4 5	単位处的時間 単位性的時間 単位性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

厚生労働大臣指定 介護福祉士養成専門課程として、介護福祉業界が求める、より現場の実践に即した技術を修得することを中心としたカリキュラムを 編成している。特に実習においては、厚生労働省による指定規則に則った要件を満たす施設および指導者と連携・調整を図りながら、常に効果的な実 践教育を行っている。また、実習終了後には、実習施設の指導者と意見交換を交わして本校教育にフィードバックし、科目編成に活かしている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。委員会は、次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、カリキュラム会議においては、教育課程委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し、策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
早井 太一	公益社団法人 福岡県介護福祉士会 理事	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	1
江川 順一	社会福祉法人 シティケアサービス シティケア博多	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	3
大庭 欣二	合同会社 福岡福祉向上委員会 代表	令和7年4月1日~令和8年3月31日 (1年)	3
吉水 美穂	麻生医療福祉&保育専門学校介護福祉科リーダー		_
平山 恵子	麻生医療福祉&保育専門学校介護福祉科サブリーダー		_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
 - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年6月22日(土)14:00~16:00

第2回 令和7年3月1日(土)13:00~15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

留学生を含む学生の日本語力向上を目的にカリキュラム内に日本語学習を組みこんでいく必要があるとの意見をいただき、カリキュラムに今年度は補講として組み込むことができた。また国家試験対策ではAI・ICTを活用した模擬試験や補習を導入し、新しい出題傾向にも対応することとした。介護ロボットやICT活用については「利用者QOL向上」の視点を取り入れた授業を展開するといいと意見をいただき、現場の意見を踏まえたディスカッションを実施したうえで、カリキュラムのなかで現場の直接の声を学生に伝えることを実施できた。実習では施設との事前調整と指導者情報共有を強化し、学生満足度を高めるため選定基準の見直す必要性の意見から、実習指導者との情報共有を実習日誌のクラウド化により、時差のない指導に結びつけることができている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本学科では、「介護実習」を行うにあたり、平素より実習施設との有機的な連携をもとに、カリキュラムを編成している。「介護実習」では、個別ケアの必要性を熟知して、利用者理解と根拠に基づいた介護を実践することを目的として、「個々人に適した生活支援技術を提供できること」「介護過程の展開ができること」を実習の目標としている。これら、目的・目標についての意識を統一するために、実習施設および施設指導者、担当教員は常に情報を共有し合い、意見交換をしながら効果的な教育を目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習実施前に、施設担当教員と実習指導者が打ち合わせを行い、実習計画や内容、実習概要について協議・調整を行う。今年度は学生が実習に不安なく行けるように、学生も参加した実習指導者担当者会議を行い、実習に望む姿勢を共有する。実習期間中は担当教員が巡回して指導者との連携を図っている。評価については、態度・知識・技能に応じて、評価基準に基づいた評価を指導者よりいただき、担当教員との相互評価としている。

るうでいる。計画については、感及が過程があると、計画室中に至っていた計画と指導者よりいたださいに当教員との指生計画としている。 また、実習終了後は学内で報告会を開催。実習終了後は学内で報告会を開催。その際は実習指導者にはオンラインでの参加も推奨し、参加してきた 抱く施設を増やすことで、より実習での学びや気づきを深化させることができ、フィードバックを学生に還元し、実習の振り返りを強化できている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
介護実習IA	3.【校外】企業内実習(4に	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から 様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用 者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の 確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチー ムの一員としての介護福祉士の役割について理解す る学習とする。	シティケア博多 おあしす長丘 なのみ工芸 ファミリー那珂 デイサービス草ヶ江 他
介護実習 I B	3. 【校外】企業内実習(4に 該当するものを除く。)	実習 I Aの延長として、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する学習とする。また、次年度に実施する実習 II (介護過程の展開)に向けての課題を見つける。	シティケア博多 おあしす長丘 なのみ工芸 ファミリー 那珂 デイサービス草ヶ江 他
介護実習Ⅱ		必要があることを学習する。さらに、実際に施設や事業所のカンファレンス等に参加し、介護をする上で必要な職種の役割について学ぶことで、生活支援チー	菊池園 ちづる園 シテイケア博多 シティケア長住 月隈愛心の丘 他
介護実習皿	3 【校队】企業内宝翌(415	との介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で	菊池園 ちづる園 シテイケア博多 シティケア長住 月隈愛心の丘 他
在宅介護実習	3. 【校外】企業内実習(4に 該当するものを除く。)	利用者や家族の生活状況、利用者の全体像を理解 し、介護福祉士のかかわり方について学ぶとともに、 在宅訪問時の基本的知識と技術・態度について理解 を深める。	ケアステーションにしこう ケアステーションにしこう博多 ケアステーションにしこう城南 アップルハート 大野城市社会福祉協議会 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

介護現場の現状を把握すると共に、現場で求められる人材、知識、技術を把握し、最新の情報を学生に伝えるために、各種協会等が実施する研修等へ参加。また、実習施設、就職先等との意見交換等も行い、情報収集および知識の向上を図る。そのための専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 九州ブロック介護福祉士養成施設協議会教員研修 連携企業等: 介護福祉士養成施設協議会九州ブロック

期間: 2024年9月7日 対象: 専任教員1名

内容 介護福祉士養成の今後について

外国人留学生の受け入れについての現状や課題の共有

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: アサーティブコミュニケーション 連携企業等:組織デザイン・ラボ

期間: 2024年12月4日 対象: 専任教員1名

内容 言いにくいこと言わなければならない場面を想定した事例を使って、相手も自分も尊重した伝え方について学び、実践する。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

介護教員研修会 九州ブロック 連携企業等: 日本介護福祉士養成施設協会九州ブロック 研修名:

2025年9月20日 期間: 対象: 専任教員3名

テーマ 魅力ある介護福祉教育の創造 ~次世代の介護福祉士を育てるために~

これからの介護福祉教育のあり方を見つめ直し、次世代の介護福祉士を育てるため、教育現場の課題や実践の工夫を共有しなが 内容

ら新たな教育の可能性を探る

②指導力の修得・向上のための研修等

心のサポーター指導者養成研修 連携企業等: ここサポ養成事業(厚生労働省委託) 研修名:

期間: 2025年 11月6日 対象: 専任教員1名

心のサポーターを養成する指導者を育成することです。指導者とは、地域で開催される心のサポーター養成研修の講師を務める 内容

等、事務局や自治体と連携して、心のサポーターの活動を支援する人

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行う に当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定 することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを 行う。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事·給与規程、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員からの「学生の主体性向上」「教育活動の質向上」「学生支援強化」等の指摘を受け、令和6年度はLMS・生成AI導入による学習進度可視化やカリ キュラム見直しを進めた。その結果、退学者数は前年から約50%減少し、学生の学習姿勢にも前向きな変化が見られた。

また、授業準備が増えた教員への時間確保策を講じるべきという意見をいただいたことから、教員の業務効率化に向けれ活用事例の共有や分業制試 行を実施。学生募集では再来校インセンティブ施策を導入したが、定員充足率は依然課題であり、学科別施策を継続中

今年度はManabie導入によるデーター元管理とAI教材の多言語対応を進め、教育の質保証と学生支援の充実をさらに推進する。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

	所 属	任期	種別
占部 尊士	西九州大学 准教授	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	有識者
井浦 賢治	福岡市東住吉公民館 主事	令和6年4月1日~令和8年3月31日 (2年)	地域住民
田中 隼平	心理カウンセラー科	令和6年4月1日~令和8年3月31日 (2年)	卒業生
宮井 浩志	社会福祉科	令和6年4月1日~令和8年3月31日 (2年)	卒業生
永渕 加代	こども未来学科	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	保護者等
熊谷 智彦	久留米学園高等学校 校長	令和6年4月1日~令和8年3月31日 (2年)	高等学校関 係者
天野 恵	あゆみらい保育園 園長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
井上 将彦	聖峰会マリン病院 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
大庭 欣二	福岡福祉向上委員会 代表	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
潮田 大介	有限会社 ケンルック 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
副島 和代	そえじま内科クリニック 事務長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
西山 謙	診療情報管理研究研修会 委員長	令和6年4月1日~令和8年3月31日 (2年)	企業等委員
桑原 由美子	ゆあしっぷ 理事長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/amfc/2025/hyoka.pdf

公表時期: 令和7年10月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明 性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(2/ 専門子校にのいる情報促供寺への収組に関する。	ガイトライン」の項目との対応
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、資格実績、就職実績
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生キャンパスライフ、留学生ASOの就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検·評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生学べる分、グローバル教育、海外での大学教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/amfc/

公表時期: 令和7年7月31日

授業科目等の概要

	(介護福祉専門課程 介護福祉科) 令和7年度															
		分類							授	業プ	方法	場	所	教	員	
		選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義		実験・実習・実技		校 外		兼任	企業等との連携
1	0			人間の尊厳と 自立	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、 介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養う学習とする。	1 前	30		0			0			0	
2	0			ミュニケー	介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーション能力を養うための学習とする。	1 通	60		0			0		0		
3	0				レクリエーション活動の社会的意義を理解させ、福祉の現場で実践できる能力を養う。	1 前	30			0		0			0	
4	0			介護概論	介護の意義と役割及び専門性について介護の歴 史や関連法規を理解し、介護実践の基本的姿勢 についてノーマライゼーションやICF、介護の 倫理を通して理解する。	1 通	60		0			0			0	
5	0			介護福祉各論 I	介護実践は介護を必要とする人を"生活をする人"として受け止め、一人ひとりの利用者の意向や生き方、生活習慣など、個別性を大切にすることなどを学ぶことが必要であり、尊厳を守る介護、自立に向けた介護について理解を深める。	1 通	60		0			0			0	
6	0			コミュニケー ション技術 I	介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者や利用者家族、あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を身につけるための学習とする。	1 前	30		0			0		0		
7	0			生活支援技 術・基本 I	尊厳の保持の観点から、どのような状態であってもその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。	1 通	90			0		0		0		
8	0				利用者個人の尊厳を保持しながら利用者が主体 的に生活できるよう支援する視点を学ぶ。	1 後	30		0			0		0		
9	0			介護過程総論	①介護過程の意義を理解し、生活支援の課題や目標をとらえることができる。②他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開することができる。③介護計画の立案により、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。	1 後	30		0			0		0		

	(介護福祉専門課程 介護福祉科) 令和7年度															
		分類							扬	後業プ	法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講		実験・実習・実技		校外		兼任	企業等との連携
10	0			介護過程各論 I	①生活場面の身近な事例を通して、介護過程を 理解する。②介護実践場面の事例を通して介護 過程の実際を知る。	1 後	60			0		0		0		
11	0			介護総合演習 I	①介護実習に向けての心構え、予備知識、動機付けなどを行う。②実習後に十分な振り返りを行い、より効果的な実習を行えるようにする。	1 通	60			0		0		0		
12	0			発達と老化の 理解	①介護実践に必要な知識として、からだのしくみとはたらきについての知識を養うとともに、人間の成長と発達についての理解を深める②発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を学ぶ。③一般的な病気及び高齢期に特徴的な病気や症状と対応について学ぶ。	1 通	60		0			0			0	
13	0			認知症の理解	①医学的側面から見た認知症に関する基礎知識を習得する。②認知症に伴うこころとからだの変化と特徴的な心理行動、及び対応について学ぶ。③本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。	1 通	60		0			0		0		
14	0				障害の概念や障害者福祉の歴史を踏まえ、障害 者支援の基礎となる関係法規や理念について理 解する	1 後	30		0			0			0	
15	0			障害の理解Ⅱ	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的 知識を習得するとともに、障害のある人の体験 を理解する。	2 前	30		0			0			0	
16	0				①こころの面から利用者の状態を見て、その要因の根拠となる知識について学ぶ。②こころとからだは相互に影響しあい、意欲や行動に影響を及ぼすことを学習する。	1 前	30		0			0		0		
17	0			からだのしく み I	介護技術の根拠となる人体の構造や機能につい て学ぶ。	1 通	60		0			0		0		

	(介護福祉専門課程 介護福祉科) 令和7年度															
		分類							授	後業プ	法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外		兼任	企業等との連携
18	0			介護実習IA	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する学習とする。	1 前	40				0		0	0	0	0
19	0			介護実習IB	個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する学習とする。	1 後	80				0		0	0	0	0
20	0			ケア・コミュ ニケーション	介護福祉士として、医療福祉の現場で仕事をするうえでのコミュニケーションの役割を学ぶとともに、対人援助を行うために必要なホスピタリティについて考える。また、コーチングやアサーティブなコミュニケーションを通して、自己開示示の重要性についても理解する。	2 前	16		0			0			0	
21	0			社会の理解	人と社会の関係や社会システムを理解し、現代 社会の様相を捉える。また、種々の社会問題に ついて理解する。	1 通	60		0			0			0	
22	0			介護福祉各論 Ⅱ	各論 I を踏まえたうえで、さらにケアマネジメントや職業、リスクマネジメント、そして介護 従事者の健康管理などについて学ぶことにより、安全かつ安心できる介護や信頼のおける介 護の実現を目指す。	2通	60		0			0		0		
23	0				①様々な障害を持つ人に対して、障害特性に応じたコミュニケーションの方法を習得する。② 介護におけるチームコミュニケーションの意義と方法を習得する。	2 前	30		0			0			0	
24	0			ICT・介護ロ ボット	実際のICT機器・介護ロボットを活用して、業務の効率化について考えることで、利用者への介護の質の向上を図る。ビックデータを活用した介護過程の展開を考え、根拠に基づいた思考方法について知ることができる	2 前	20			0		0			0	
25	0			衣食住の介護	介護を必要とする人がどのような状態があっても、生きていることの実感ができ、その人らしく生きるための生活環境作りをすることで生活の楽しさや生活の支障の解決について分かち合うことができる	2 後	40			0		0			0	

				門課程 介護福	冨祉科)令和7年度											
		分類					,_		授	後業プ		場	所	教	員	
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技		校 外		兼任	企業等との連携
26	0				基本 I をふまえて、生活支援に I C F の視点にもとづいた利用者の生活支援ができるようになることをめざす。そのために必要な、介護技術・援助方法の習得をめざす。	2 後	30			0		0		0		
27	0				障害の形態や状況に応じて、利用者のニーズに 応えられる介護支援を行なえるようになる。	2 通	90		0			0		0		
28	0			介護過程各論 Ⅱ	①実習体験の事例を通して、介護過程を理解する。②介護過程を通して、チームアプローチの重要性を理解する。	2 通	60			0		0		0		
29	0			介護総合演習 Ⅱ	①これまで学んだ知識や技術を統合して、実際 場面に適用できる応用力・判断力を身につけ る。②実習後に十分な振り返りを行い、より効 果的な実習を行えるようにする。	2 通	60			0		0		0		
30	0			からだのしく み II	Iをふまえ、介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。	2 前	30		0			0		0		
31	0			在宅介護実習	①在宅で生活する方の、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から、生活の場においての個別ケアの実際を学ぶ。②他職種協働や関係機関との連携を通じてチームケアの重要性を体験する。	2 後	12				0		0	0	0	0
32	0			介護実習Ⅱ	介護実践のための基本的な生活支援技術を実践し、利用者の状況に応じた介護技術を適切に使う必要があることを学習する。さらに実際に施設や事業所のカンファレンス等に参加し、介護をする上で必要な職種の役割について学ぶことで、生活支援チームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。	2 前	160				0		0	0	0	0
33	0			介護実習Ⅲ	個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する学習とする。	2 後	160				0		0	0	0	0

	介	護福	祉専	門課程 介護福	冨祉科)令和7年度											
		分類							授	後業プ	5法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校外		兼任	企業等との連携
34	0				利用者と家族を中心としたケア・サービスを実現するために専門職が行う多職種連携の実際ついて知る。 双方の専門性の理解と連携の方法を深める。	2 後	16		0			0		0		
35	0			医療的ケア	喀痰吸引・経管栄養の定義および手技等が理解でき、その対応に必要な人間の尊厳や利用者理解を知ることで、介護福祉士としての役割を学ぶ。	2 通	68		0			0		0		
36	0			GCB I	「感謝と思いやり」をテーマに、人間力、集団 力、マナーの本質、行動力を学ぶ。	1 前	16		0			0		0		
37	0			GCB П	志を立てることをテーマに、夢、ビジョン、 志、国際社会、成功者、自己変革を学ぶ。	2 前	16		0			0		0		
	合計 37 科目 1874 単位(単位時間)															

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
・各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 ^{卒業要件:} ・学年の出席率が90%以上であること。	1 学年の学期区分	2 期
・科目の履修および単位の認定は、科目試験の評価を持って行う。 ・学習の評価は、各科目について100点満点とし、60点以上を合格点とす る。 履修方法: ・出席時間が所定時間の3分の2に満たないものは、科目の評価を受ける 資格を失う。 ・それぞれの科目の履修方法は、当該シラバスに記載されている。	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。